

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	グループホーム 向日葵
日付	平成18年3月23日
評価機関名	有限会社 アウルメディカルサービス 評価調査員：薬剤師・介護支援専門員 介護経験歴6年
自主評価結果を見る	
評価項目の内容を見る	
事業者のコメントを見る（改善状況のコメントがあります！）	

外部評価の結果

簡評
全体を通して（特に良いと思われる点など）（記述式）
ホ - ムは、住宅街の中にあり日当たりが良く、自宅に住んで居るような雰囲気をかもし出しています。職員は、入居者といっしょに生活している気持ちで仕事をしているので自然な振る舞いが出来ていました。また、一人ひとりが、自由かつ出来る事を維持していけるように職員は考えて介助にあたり、共同生活にもなじんでもらえるように心がけていました。
入居者の家族とのコミュニケーションは、よく取れています。面会にも頻繁に来てくれていました。グループホームで入居者と一緒に食事をしていく家族もいました。グループホームの周りにはほとんどスペースがありませんが、入居者の希望により小さな畑を作っていて、野菜などが作られています。収穫の一部は料理に利用され、入居者の楽しみの一つになっています。
改善の余地があると思われる点（記述式）
階段やエレベーターが外にあるため、ユニット間の交流に難がある構造になっています。昨年と比べて、職員と入居者が仲睦まじく一緒に生け花をするなど、コミュニケーションをはかる機会を出来るだけ作っているようですが、まだまだ発展途上です。がんばりに期待します。

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目 記述回答	グループホームとしてめざしているものは何か (記述式で回答) 「体にゆとりを 心に安らぎを めくもりのある時間をあなたと共に」を理念に職員は介護対応に当たっています。入居者に自立した生活を送ってもらうため、現在の出来る機能を維持してもらうために、見守り重視の介護を心がけています。入居者の思いに叶う介護を目標にしています。入居者をお預かりした限りは、どのような形であれ最後までという気持ちで介護に当たっています。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居居の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目 記述回答	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か (記述式で回答) グループホーム内では自由にして頂いています。職員も積極的に話をしています、帰宅願望があれば外に連れ出したり、ドライブなどに連れて行ったりしています。家族も面会によく来てれています。		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏かな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個々の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	ブライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目 記述回答	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か (記述式で回答) 自由に暮らしてもらっています。入居者のやる気を起こさせるような言葉かけをしています。お茶のパック詰めやカレンダーの色塗りなど楽しんで出来るように職員も一緒に会話をしながら取り組んでいます。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目 記述回答	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か 徘徊状態の入居者には、初めのころは常について歩き、危険がないようにしていましたが、最近は行動を把握して要所ごとの見守りに変えています。入居者の介護度に差があるため、介護度に合ったやり方をしています。比較的介護度が軽い入居者には積極的にいろいろな作業を、介護度が高くなっている入居者にはこれ以上レベルが下がらないように介助しています。認知度が低下しないように会話を重視しています。		